

はじめての地デジ・
データ放送

濱田 淳

第2回 テレビの中で行う処理

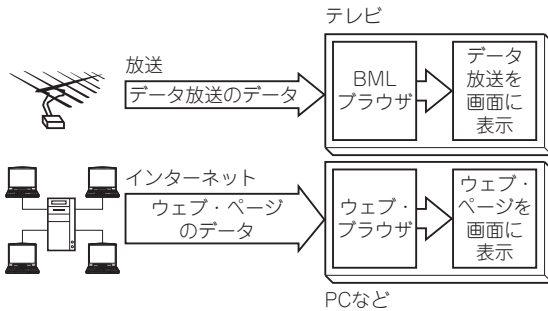


図1 データ放送のしくみはウェブ・ページを表示するしくみと似ている

今回は、データ放送を表示するための必須アイテムである、データ放送対応テレビのハードウェア構成について解説します。(編集部)

テレビにデータ放送を表示するしくみ

● 基本はウェブと似ている

インターネットのホームページを記述するときを利用するHTML (Hyper Text Markup Language) は、XMLベースの言語です。データ放送も同様にXMLベースのBML (Broadcast Markup Language) という

放送に特化した言語を利用します。

BMLの基本機能はHTMLと同じです。HTMLはパソコンやスマートフォン上に画像や文字をどう配置/表示するかを記述します。同様にBMLも、映像エリアをテレビ上のどこに配置するか、文字や画像データを情報エリアにどう配置/表示するかを記述します。

● ブラウザ・ソフトを使って表示する

インターネットでホームページを表示させるには、HTMLで記述したテキスト・ベースのデータ・ファイルをウェブ・ブラウザ (IEやFirefox, Google Chromeなど) で読み込んで、ウェブ・ブラウザ上に表示させます。

データ放送も同様に、BMLで記述したテキスト・ベースのデータ・ファイルをテレビ内部のBMLブラウザというソフトウェアで読み込んで表示させることで、テレビで見られるようになります (図1)。

データ放送対応テレビの
ハードウェア構成

● 映像/音声とデータ放送情報は別のハードで処理する

データ放送を処理するためのテレビの中のハードウェア構成を図2に示します。また、各ブロックの働

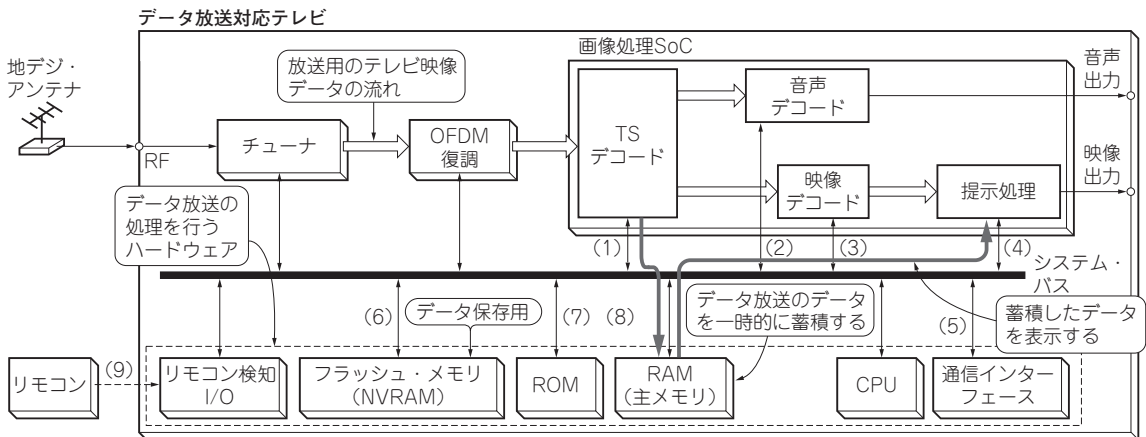


図2 データ放送対応テレビのハードウェア構成…テレビ映像処理部とは別にデータ放送に必要な各種処理を行うためメモリなどを持つ